

多様な公道走行実験が拓く次世代モビリティ

自動運転と公共交通

—社会実装化と技術開発・法制度等の展開

- 次世代モビリティの社会実装化—ビジネスモデル開発と実証実験の推進
- 「自動運転に係る制度整備大綱」—公道での自動運転技術の活用と課題
- 公共交通への導入—公道走行実験の成果・課題と自動運転自動車の展望
- S Bドライブの自動運転バス—実用化に向けた実証運行とノウハウ蓄積、横展開

>>> 講師陣

須田 義大 氏 / 東京大学生産技術研究所教授
 菅沼 直樹 氏 / 金沢大学新学術創成研究機構
 今井 猛嘉 氏 / 法政大学大学院法務研究科教授
 未来社会創造研究コア自動運転ユニット
 ユニットリーダー・准教授
 長橋 愛 氏 / S Bドライブ(株)セールス&コミュニケーションチーム

>>> 日時・会場

2018年6月21日(木) 10:00~16:50 剛堂会館・会議室(東京・千代田区)

時	講 義 内 容	
10:00	自動運転による次世代モビリティ社会の変革 ~エコシステムの構築による社会実装~	東京大学生産技術研究所教授 須田 義大 氏
11:25	1. 自動運転のエコシステム 2. 技術開発と社会受容性 3. ユーザーと産業界へのインパクト 4. 地域社会と次世代モビリティ 5. ビジネスモデルの実証実験 【質疑応答】	
	<<須田 義大氏プロフィール>> 1982年 東京大学工学部機械工学科卒業、東京大学大学院修士課程・博士課程修了(工学博士)。法政大学工学部機械工学科助教授、カナダクイーンズ大学客員助教授を経て、2000年より東京大学生産技術研究所教授。2007年度~2017年度千葉実験所長、2010年度~2017年度次世代モビリティ研究センター長。車両制御工学、ITS(高度道路交通システム)等を専門とし、国内外の学協会の理事・評議員、国際会議の議長、国土交通省の審議会委員など政府委員を務める。	
11:35	自動運転技術の公道での利用—「自動運転に係る制度整備大綱」を踏まえて	法政大学大学院法務研究科教授 今井 猛嘉 氏
13:00	1. 「自動運転に係る制度整備大綱」(1)大綱の目的と基本的考え方 (2)自動運転技術の安全性確保 (3)道路環境等の整備 (4)法制度等の整備 2. 検討すべき具体的課題 (1)Geneve条約と日本国内法 (2)法的責任の帰属と責任の内容 (3)民事法、保険法の課題 (4)行政法の課題 (5)刑事法の課題 3. より大きな将来の課題 (1)都市、地方、特徴に応じたAIの構想 (2)車両の所有から共有 (3)自動運転技術を発揮できる都市計画 【質疑応答】	
	<<今井 猛嘉氏プロフィール>> 弁護士。東京大学法学部卒業後、東京大学法学部助手、北海道大学法学部助教授、イギリス・ケンブリッジ大学法学部客員研究員等を経て、2002年より法政大学法学部教授。専門分野は刑法。現職の他、法制審議会刑事法部会委員、司法試験審査委員、内閣官房・内閣府本府入札等監視委員会委員等を務める。著書に『刑法各論 LEGALQUEST』(有斐閣)等。	
13:50	自動運転自動車の公共交通分野への導入に向けた展望と現状について	金沢大学新学術創成研究機構 未来社会創造研究コア 自動運転ユニット ユニットリーダー・准教授 菅沼 直樹 氏
15:15	1. 自動運転自動車の開発の歴史と公共交通への導入 2. 自動運転自動車に必要な技術 3. 自動運転に必要な要素技術の概要紹介 4. 自動運転自動車の公道走行実験の概要と現状 5. 公道走行から見てきた課題と将来展望 【質疑応答】	
	<<菅沼 直樹氏プロフィール>> 金沢大学大学院博士課程修了。博士(工学)。2002年日本学術振興会特別研究員PDを経て、同年金沢大学工学部助手に着任。2015年より異分野融合の研究を主任務とする金沢大学新学術創成研究機構に移籍し、現職。1998年から自動運転自動車の研究を開始し、2015年からは国内の大学として初となる市街地での公道走行実験も開始。2016年堀場雅夫賞受賞。	
15:25	自動運転バス実用化スタート! 今後の展開と課題について	S Bドライブ(株) セールス&コミュニケーションチーム 長橋 愛 氏
16:50	1. 全国での自動運転バス実証実績 2. 実用化に向けた体制構築と実例 3. 安全確保と利便性向上のノウハウ蓄積 4. 横展開の戦略 【質疑応答】	
	<<S Bドライブ(株)について>> 2016年に創立されたソフトバンクグループの自動運転ベンチャー。ソフトバンク、ヤフージャパンなどが出資し、自動運転技術の開発を進めるベンチャー企業の先進モビリティ社が重要なパートナーとなり、自動運転技術を使った次世代モビリティサービスの開発や、社会実証・実用化に取り組む。	

まちづくり資料シリーズ26

ITS:道路・交通・情報システムと そのアクションプログラム



監修：高田 邦道
(日本大学理工学部教授)

■体裁：A4/226頁
■発行：1996年12月17日
■定価：10,276円(税・送料込)
(本体9,515円)
■研修会参加者特価：8,500円
(税・送料込)

自動運転時代の 先駆け情報の資料集

第1章 ITSの実用化と車社会の展望

1. 道路・交通システム高度化の現状と今後の展開
2. 欧米のITS情勢と国内の取り組み

高田 邦道
トヨタ自動車 野口 好一

第2章 ITSの推進施策(関係省庁)

1. ITS推進のための警察庁の取り組みについて
2. ITSと国際標準化
3. 先進安全自動車の開発推進計画
4. カーマルチメディアの動向について
5. 本格化するITS研究開発と実用化

警察庁 田中 好巳
通産省 永井 裕司
運輸省 三上 哲史
郵政省 高部 佳之
建設省 川崎 茂信

第3章 システム・技術の最新情報とケーススタディ

1. VICS始動—その全貌
2. 車社会情報化のフィールド実験
3. ATIS:リアルタイム交通情報サービス
4. 高速道路料金自動収受システムの実験
5. ヤマト運輸の宅急便の情報技術
6. バス交通に関するリアルタイム案内情報提供の現状と課題
7. タクシー車両運用の効率化とITS

VICSセンター 宮田 稯
高知県 栗本 博樹
ATIS交通情報サービス 岩崎 光仁
日本信号 三宮 肇
ヤマトシステム 玉川 雅浩
横浜国立大 中村 文彦
松下通信工業 外山 利和

交通計画集成 巻1

交通需要マネジメントの方策と展開 ～ 都市政策と交通システムの連携 ～



監修：太田 勝敏
(東京大学工学部教授)

■体裁：A4/210頁
■発行：1996年10月
■定価：10,276円(税・送料込)
(本体9,515円)
■研修会参加者特価：8,500円
(税・送料込)

第1章 都市交通の新しい方向—交通需要マネジメント

1. 都市政策としての交通計画のあり方 岡 並木
2. 交通需要マネジメント手法による都市交通の適正化 太田 勝敏
3. 「ゆとり社会」の実現と都市交通適正化施策 茨城県・望月 明彦/建設省・武政 功
4. 都心部におけるEビリティ確保の実現方策 山本 雄二郎
5. 都市の成長管理と交通計画 東京大学 大西 隆
6. 交通静穏化の考え方と実際 埼玉大学 久保田 尚

第2章 都市交通政策の新しい方向と課題

1. 交通需要マネジメントの官民パートナーシップ 東京大学 原田 昇
2. 都市交通問題と交通警察 警察庁 小菅 孝嗣
3. ITSと自動車交通適正化 京都大学 飯田 恭敬
4. 阪神・淡路大震災における交通管理対策 警察庁 扇澤 昭宏
5. 災害時の交通計画 城西国際大学 森田 稯

交通計画集成 巻9

観光地域の交通需要マネジメント ～ ビジター交通対策とまちづくり ～



監修：高田 邦道
(日本大学理工学部教授)

■体裁：A4/186頁
■発行：1997年12月
■定価：10,275円(税・送料込)
(本体9,514円)
■研修会参加者特価：8,500円
(税・送料込)

第1章 地域資源の保全・活用と交通計画

1. 保存と開発の調和～「城下町」の道路計画
2. 観光都市のTDM～街並み保全と交通計画
3. 国立公園における自動車利用の適正化

日本大学 新谷 洋二
高田 邦道
環境庁 黒瀬 英治

第2章 環境の保全と交通計画の試み

1. [上高地]観光と自然保護の両立方策
2. [奥日光]自動車乗入規制と低公害バス
3. [倉敷]観光交通の分散誘導と駐車場の有効利用
4. [金沢]観光ピーク時における交通需要管理
5. [鎌倉]歴史的観光都市のTDMと市民参加
6. [板橋区]自治体の環境保全と低公害車の開発・普及動向
7. [三春町]歩いて楽しめる地域づくりと交通体系の確立

長野県安曇村 有馬 佳明
運輸省 吉田 耕一郎
岡山県警 多田 正人
金沢工業大学 山口 健次
東京商船大学 高橋 洋二
板橋区 浅井 浩
福島・三春町 吉田 功

第3章 観光都市インスブルック(オーストリア)の交通計画

警察庁・木戸 伴雄/高田 邦道/陸運電機・若林 勝司

交通計画集成 巻12

これからの都市と交通まちづくり ～ 21世紀の交通計画への提言 ～



監修：太田 勝敏
(東京大学工学部教授)

■体裁：A4/231頁
■発行：1998年3月
■定価：10,275円(税・送料込)
(本体9,514円)
■研修会参加者特価：8,500円
(税・送料込)

序章 [座談会:編集委員] 共生の時代の交通:これからの10年と自治体の役割

太田 勝敏/岡 並木/高田 邦道(司会)/山本 雄二郎

第1章 海外にみる都市と交通の考え方とその実際

1. 路面電車ルネッサンス 岡 並木
2. アムステルダム都市政策と交通 高田 邦道
3. シアトルとオタワの交通まちづくり 太田 勝敏
4. [韓国]釜山広域市の緑色交通市民運動(GT) 吳 承勲/黄 仁喆
5. [ブラジル]クリチバ市のバス輸送システム 中村 文彦
6. 欧米にみるまちづくりと交通計画 日本経済新聞社 井田 均

第2章 国内の注目すべき試み～交通を軸としたまちづくりへの挑戦～

1. [武蔵野市]交通マスタープラン策定と実践 武蔵野市 山梨 榮
2. [豊田市]公共交通を利用した交通手段の転換実験 豊田市交通研 伊豆原 浩二
3. [札幌市]公共交通を軸としたまちづくり 札幌市 赤澤 義遵
4. [名古屋市]基幹バス・ガイドウェイバス 名古屋市 杉野 尚夫
5. ヒヤリ地図の方法と効用 千葉大学 鈴木 春男

第3章 「交通まちづくり」に求められる新しい課題と展望(編集協力8氏)

[研修会の参加要領]

■日時：2018年6月21日(木) 10:00～16:50

■会場：剛堂会館・会議室

東京都千代田区紀尾井町3-2-7 (案内図は申込後送付)

■申込方法：下部の申込書に所要事項を記入の上送付下さい(FAX・郵送・メール等)。

※当日参加で申込後にご都合が悪くなった場合には代理の方のご出席をお願い致します。

■参加費(1名分)

	当日参加	2名以上参加
行政・議員	25,000円	24,500円
一般	35,000円	34,000円

■支払方法

請求後の振込(銀行振込・郵便振替・現金書留・当日払い)

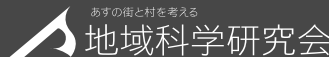
みずほ銀行麹町支店 普通1159880

三井住友銀行麹町支店 普通7411658

三菱UFJ銀行神田支店 普通5829767

郵便振替:00110-8-81660 口座名: 地域科学研究会

お申し込み・お問い合わせ



あずの街と村を考える

東京都千代田区一番町6-4ライオンズ館2-106
TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993
URL: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

【申込書 2018年 月 日】 希望欄に印を入れて下さい

FAX: 03(3234)4993 MAIL: machi@chiikikagaku-k.co.jp

■研修会の参加 『自動運転と公共交通』： 当日参加 ※メディア参加はありません

■出版物の購入 『ITS:道路・交通・情報システムとアクションプログラム』 _____ 冊 『交通需要マネジメントの方策と展開』 _____ 冊
 『観光地域の交通需要マネジメント』 _____ 冊 『これからの都市と交通まちづくり』 _____ 冊

勤務先 _____ 所在地 〒 _____ 連絡担当者 _____

TEL _____ FAX _____ E-mail _____

参加者氏名 _____ 所属部課役職名 _____

(通信欄) ○をつけてください
・支払方法(銀行振込・郵便振替・当日払い・現金書留)
・必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)
(請求書宛名等)

※ご記入いただいた個人情報は当会の活動(セミナー・出版物等の申込受付, 連絡, 請求, 案内等)のみに使用させていただきます。